

2022年7月1日

## 博多駅で使用する電気が再エネ電気になります

～JR九州グループ内における再エネ電気の活用～

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮 洋二 以下、「JR九州」）は、2022年7月1日より、JR九州博多駅で使用する電気を「再エネ電気」に切り替えました。

具体的には、九州電力株式会社（代表取締役社長執行役員：池辺 和弘）が調達したFIT電気に「非化石証書」を付与することにより、博多駅の二酸化炭素（以下「CO<sub>2</sub>」）排出量をゼロにします。なお、電気の一部はJR九州電気システム株式会社（代表取締役社長：小林 幸）が保有する玖珠太陽光発電所（大分県玖珠郡玖珠町、出力約2.4MW）のFIT電気に、同発電所の「トラッキング付非化石証書」を付与した電気とし、JR九州グループ内での再エネ電気の活用を行います。

### （1）供給対象場所

JR九州 博多駅（福岡市博多区博多駅中央街）  
※駅ビル・列車の運行に関する電気を除く

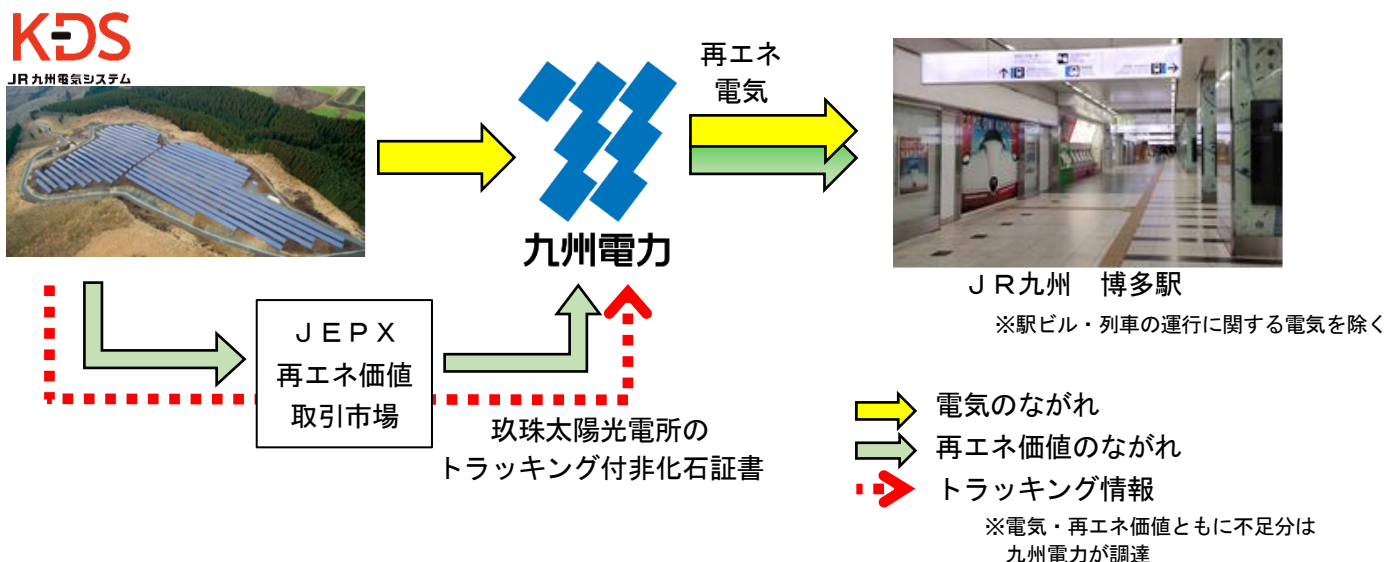
### （2）供給開始

2022年7月1日

### （3）対象場所のCO<sub>2</sub>排出量削減量

年間2,651 t-CO<sub>2</sub>（一般家庭の年間使用電力量 約1,200世帯分）

### （4）再エネ電気供給の仕組み



JR九州は、2021年2月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言への賛同表明及び、JR九州グループにおいて、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指す宣言を行っております。引き続きCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの実現に向けた取り組みを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。